

夢を目指す皆さんへ贈るメッセージ



佐藤 久剛

自分自身の経験から、鍼灸師以外の資格も積極的に取得されることをお勧めします。

私自身、健康運動指導士を持つことで、高齢者施設での体操教室のボランティアを率先して引き受け、施設から訪問マッサージの仕事を得るなど、国家資格以外にも治療院の柱を持つことができました。

“待ち”ではなく、こちらから“尋ね、訪ねる”姿勢が、大切だと思います。



『あんまマッサージ指圧師免許』が必要不可欠と判断。IGLに続いて京都の専門学校に進学し、資格取得を目指します。
京都の在学中に、実家のお寺の名前を冠する「高信寺鍼灸院」を開院。卒業後、「くこう鍼灸院あんまマッサージ指圧院」に名称変更し、改めて開業します。

後進の育成、業界のあり方にも心を砕く佐藤さんは、現在、広島県鍼灸マッサージ師会の常任理事も務めます。学術研修会の開催により、資格者の技術向上を図るとともに、将来の資格者の育成のため、専門学校とも連携。スポーツ現場を経験したい学生と業界との交流も図り、広い視野での活動を続けます。
さらに、日本体育協会公認自転車競技コーチ、日本自転車競技連盟公認2級審判員などとしても活躍。茶道裏千家の講師も務める、異色の治療家です。

治療をしながら、佐藤さんは、自身の経験を生かし、広島県の自転車競技の国体少年チームの監督をはじめ、自転車競技ナショナルチーム（トラック）のトレーナー、実業団・愛三工業レーシングチームのツールド北海道のマッサージ、競輪・競艇選手のパersonalトレーナーなどを継続して務めます。



神奈川の専門学校で学んだのち、故郷広島でのIGLで鍼灸師の資格を取得。卒業後は開業しか考えていなかったことから、在学中に銀行主催の開業セミナーにも積極的に参加、将来の開業に向けて準備を進めます。さらには、佐藤さんの考える、**鍼灸を柱とする治療院の経営**には、

くこう鍼灸院 院長
6 佐藤 久剛さん

■鍼灸学科 2010年卒業 7期生

こちらから尋ね、訪ねる姿勢が大切。

将来を見据え、積極的に必要な資格を取得。率先したボランティア活動からも、治療院のひとつの柱が生まれた。

佐藤さんの実家は、真言宗のお寺。高校卒業後、僧侶になるために高野山大学に進学しますが、かねてからの、競輪選手になる夢を叶えるため1年で退学し、日本競輪学校に入学。翌年、国家試験である競輪選手資格検定に合格し、約8年間競輪選手として活躍、通算173勝を挙げます。
2003年、お寺を継ぐために引退、僧侶の修業に入りますが、競輪時代に患った腰椎ヘルニアが再発し、佐藤さんは修業を中断することになります。そのとき、日本を代表するスポーツトレーナーであり、鍼灸師である、白石宏先生（S.T. 白石鍼灸治療院代表）に助けられ、そこから、鍼灸の道に進むことに。
白石先生は、長年、テニスの伊達公子選手や、陸上短距離の山縣亮太選手などのパーソナルトレーナーを担当。ソウル五輪金メダリストの競泳・背泳ぎの鈴木大地選手（現スポーツ庁長官）に、決勝直前、腰の激痛から救う治療を施すなど、国内外の数々の超一流アスリートのサポートで知られる、日本のスポーツトレーナーのパイオニアです。競輪選手時代に続いて白石先生の治療に助けられたことから、佐藤さんの新たな道が開かれます。